

お客さまから、
「私たちの金融機関」と支持され、評価される
『アワーズしんきんバンクの実現』を目指します。



理事長
佐藤 信明

平素より北海道信用金庫に格別のお引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。

本誌は、当金庫の経営内容及び地域に根ざした営業活動、地域貢献等についてご理解を深めていただけるよう作成いたしました。本誌を通じ、当金庫の営業概況・経営姿勢をご理解いただければ幸いです。

2023年度の我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」へと移行したことをきっかけに、国内経済活動は正常化へと進んだ一方、円安の進行及び原材料価格の高騰、商品小売価格の値上げなどが、企業経営並びに一般家庭に多大な影響をもたらしました。

2024年度についても、物価高や地政学的リスクの高まり、マイナス金利政策の解除で17年ぶりに行われた利上げや、円安の加速などが地域経済に及ぼす影響について、注視しなければならない状況にあります。北海道経済においても、観光需要の復調に加え、千歳市へのラピダス進出、後志地区の高速道路やニセコ地区の開発など、景気回復に寄与する好材料を抱えているものの、物価高による下押し圧力などが懸念されます。

先行きが不透明な環境下にあります。当金庫におきましては、不変の最重要課題である「コンプライアンス態勢の強化」「顧客保護等の徹底」「リスク管理態勢の構築・強化」を進めるとともに、「四方よし」[※]の経営を実践し「アワーズしんきんバンクの実現」を目指してまいります。そして、役職員一同、心を一つに「ONE TEAM (ワンチーム)」となって、地域支援・課題解決に取り組んでまいりますので、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げ、巻頭の挨拶といたします。

2024年7月

※「四方よし」…「会員・お客様よし」「地域社会よし」「金庫・役職員(家族)よし」「環境よし」